

SuperStreamCORE の帳票見出しがずれる件に関する対応方法

2004/12/09

NEC 情報システムズ

掲題の件につき、対応方法を以下にご説明します。

対応には、大きくわけて

- ①フォーマットエディタで帳票の見出し部のフォントサイズを変更する。
- ②オーバーレイエディタでオーバーレイを変更する。
- ③必要であれば、過去分の CD-ROM を再作成する。

の3つになります。

各画面の使用方法詳細は「利用の手引き～フォーマット作成編」を参照下さい。

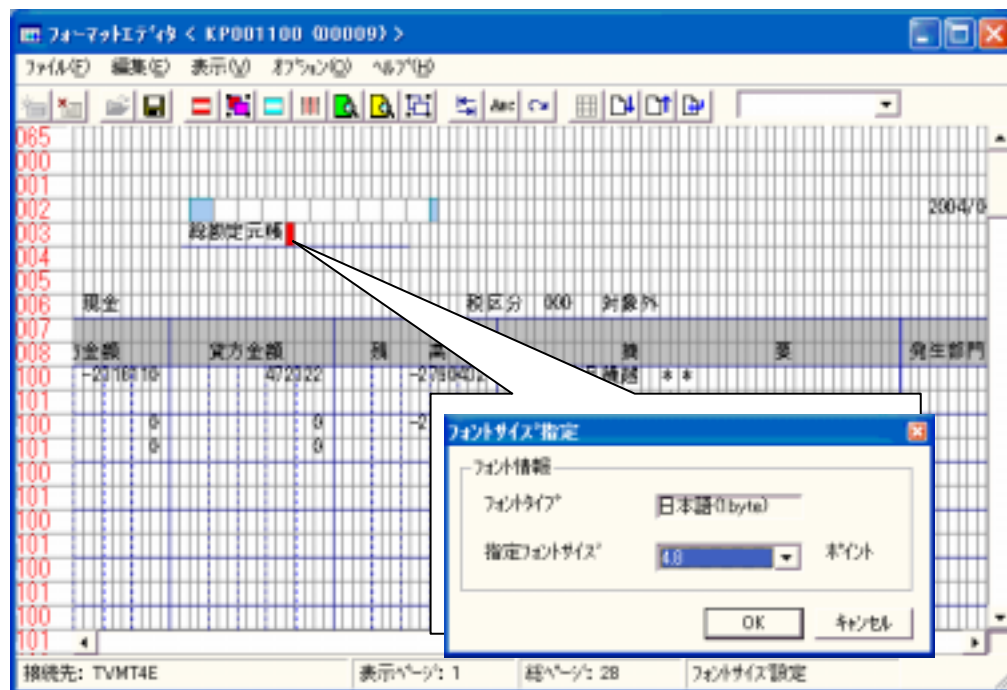
1. 帳票見出し部のフォントサイズの変更

フォーマットエディタを用いて、帳票見出し部のフォントサイズを変更します。

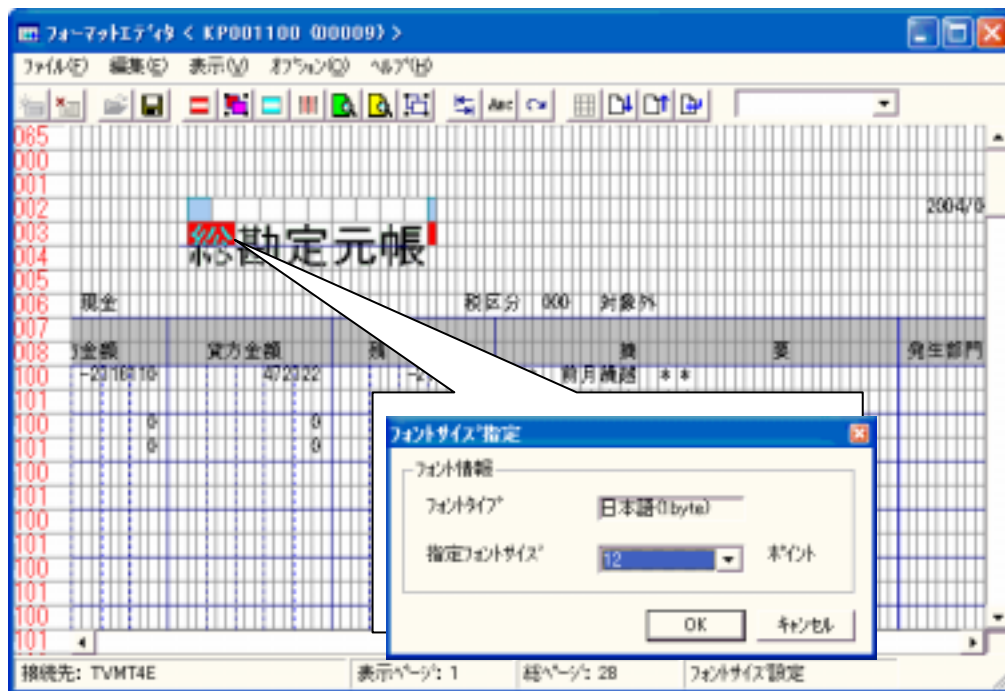
例として総勘定元帳を用います。

- 1) PIFVIEWER クライアントのフォーマットエディタを起動し、ログインします。
- 2) 対象の帳票を読み込みます。サブレポートは最新のものを選択します。
- 3) フォント変更機能でタイトル見出しのフォントを変更します。

- ①まず、見出しの直後のスペース(図の赤の箇所)を選択し 4.8point を指定します。後ろのスペースを無用に大きくしない為です。



②次に見出しの先頭の文字(「総」)を選択し 12point を指定します。



③保存します。

4) 他の対象帳票も同様にフォントサイズの変更を行って下さい。

5) 仕分処理などを行い、異なるグループのメールボックスに帳票が仕分される場合は、その仕分・コピー先のディレクトリに設定ファイルのコピーが必要です。

※下記 例では、PIFVIEWER メールボックスを「D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001」としています。

コピーする設定ファイル：各レポートディレクトリ内の「report.fci」

例) 総勘定元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥REPORT¥KP001100¥report.fci

補助元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥REPORT¥KP001200¥report.fci

相手先・得意先元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥REPORT¥KP007100¥report.fci

①コピー先の該当ディレクトリの設定ファイル(report.fci)のバックアップを取ります。

②上記設定ファイル(report.fci)を PIFVIEWER サーバの該当レポートディレクトリの下にコピーして下さい。

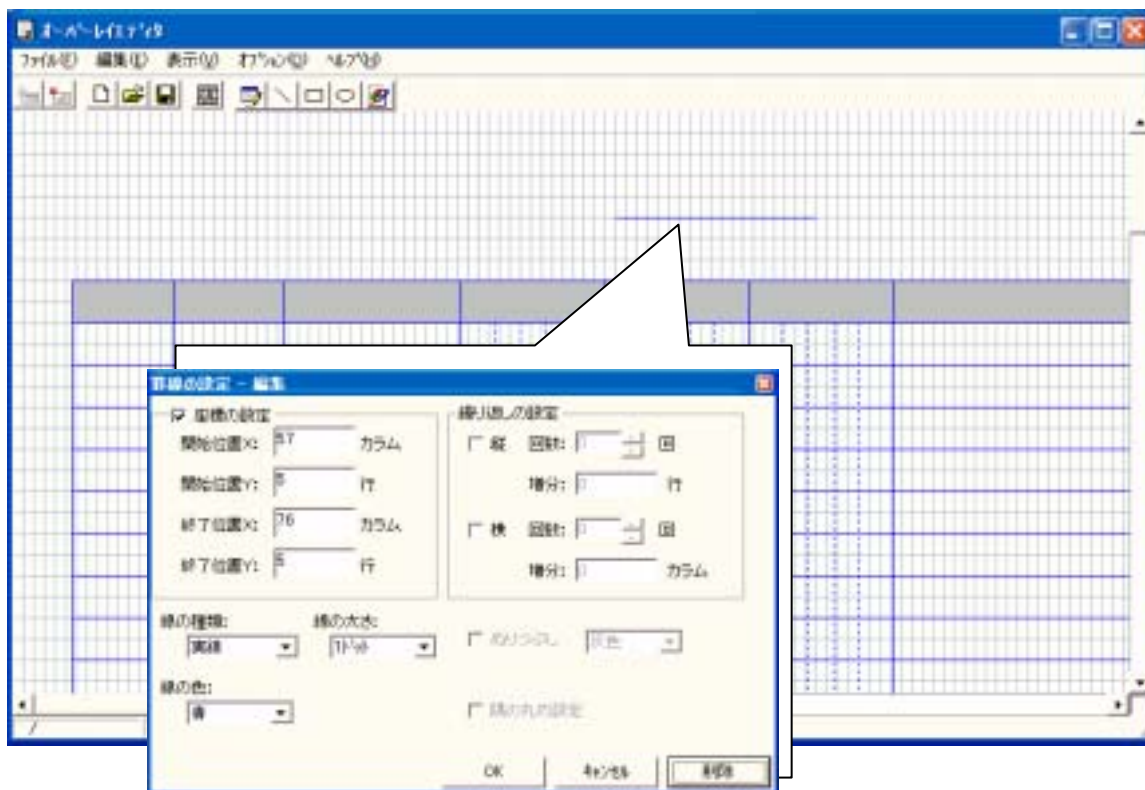
※ 異なる帳票のディレクトリには絶対にコピーしないで下さい。

2. オーバーレイの変更

オーバーレイエディタを用いて、見出し部の罫線を削除します。

例として総勘定元帳を用います。

- 1) PIFVIEWER クライアントのオーバーレイエディタを起動し、ログインします。
- 2) 対象の帳票を読み込みます。サブレポートは最新のものを選択します。
- 3) 罫線を選択し、削除します。



- 4) 保存します。
- 5) 仕分処理などを行い、異なるグループのメールボックスに帳票が仕分される場合は、その仕分・コピー先のメールボックスにオーバーレイファイルのコピーが必要です。

※下記 例では、PIFVIEWER メールボックスを「D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001」としています。

コピーする設定ファイル：オーバーレイファイル「～.ovl」

例) 総勘定元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥OVERLAY¥KP001100.ovl

補助元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥OVERLAY¥KP001200.ovl

相手先・得意先元帳： D:¥PIFDIR¥MBX-PIFV001¥OVERLAY¥KP007100.ovl

- ①コピー先の該当ディレクトリのオーバーレイファイル(～.ovl)のバックアップを取ります。
- ②上記オーバーレイファイル(～.ovl)を PIFVIEWER サーバの該当オーバーレイディレクトリの下にコピーして下さい。

3. 過去の CD-ROM を再作成する

既に保存している CD-ROM の枚数が多い場合は、多くの作業時間が必要になる可能性があります。

今回の「見出し部のずれに対する対応」は、表示のみの問題であり検索などの処理には影響致しません。
対応の要否に関してはお客様にてご判断下さるよう、お願い申し上げます。

下記 a) b) どちらかで対応をお願いします。

a) 過去の帳票が PIFVIEWER サーバに残っている場合

「1.フォントサイズの変更」「2.オーバーレイの変更」の対応終了後に、通常の CD-ROM 作成と同様に CD-ROM 出力オプション(CDOUT)を用いて CD-ROM を作成します。

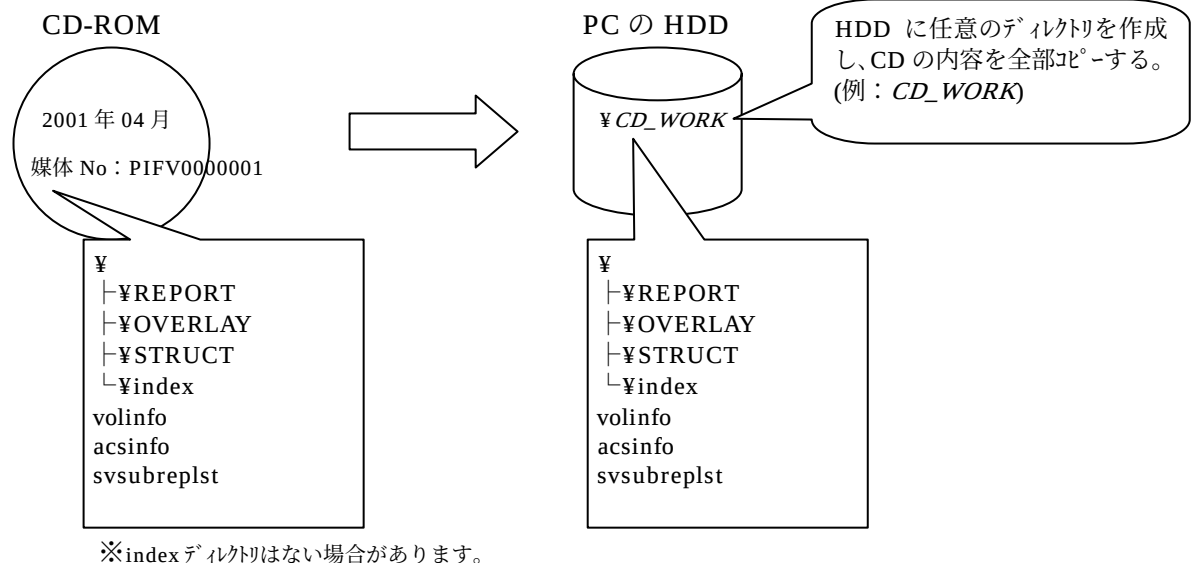
b) 保存用の CD-ROM を変更する場合

PIFVIEWER サーバに過去の帳票が残っていない場合は、既に作成した CD-ROM を変更することになります。

・ CD-ROM の変更の仕方

① CD-ROM を HDD などの媒体にコピーします。

例) 媒体ラベル：PIFV0000001



② HDD内の修正対象ファイルを置き換えます。ディレクトリ構成は上記①を例にします。

・ フォントサイズ関連設定ファイル (report.fci) :

例) 総勘定元帳の場合

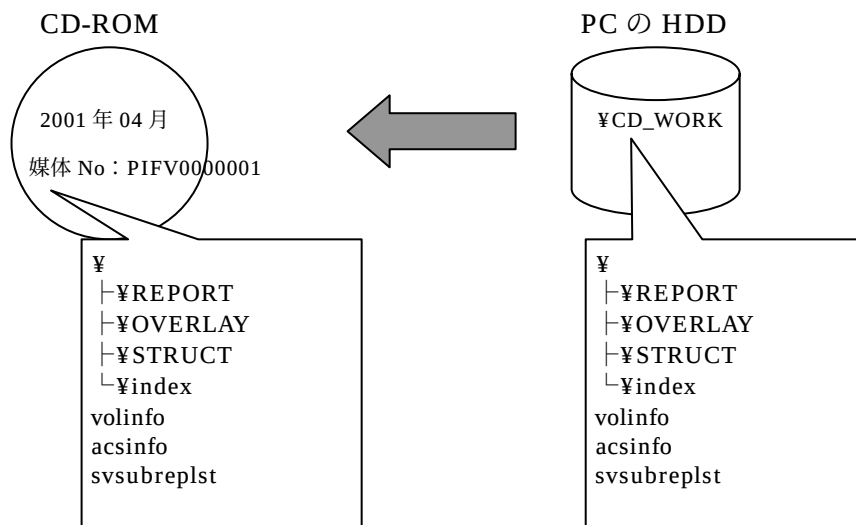
¥CD_WORK¥REPORT¥KP001100¥report.fci

・ オーバーレイファイル (～.ovl) :

例) 総勘定元帳の場合

¥CD_WORK¥OVERLAY¥KP001100.ovl

③新しい CD-ROM に HDD の CD イメージを焼き込みます。



※indexディレクトリはない場合があります。

【重要】以下の事項に注意し、作業をお願いします。

- ・ 媒体ラベル（例：PIFV0000001）は必ず、元の CD と同じものを指定して下さい。
- ・ ディレクトリ構成を間違えないで下さい。HDD の¥CD_WORK ごと CD に焼き付けたりして構成が異なっている場合、レポートビューワがレポートを表示できなくなります。
- ・ 必ずレポートビューワを用いての動作確認を行って下さい。
- ・ コピー元の CD に追記などの REWRITE による更新を行わないで下さい。